

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員間で理念に対する理解に個人差がありケアに活かされていない。	理念の意義や理解を深める	理念に対する思いや意味を理解するよう話し合いケアの実践に繋げる。ケース会議を利用しサービスの質の向上を図っていく	3ヶ月
2	23	言葉で表現できない利用者の思いや意向を的確に汲み取れていない。	一人一人の思いや意向を職員全員が共有できる様にする	記録の内容を検討し、個人記録や24時間シートの充実を図り、情報を共有しやすい様にする	6ヶ月
3	33	看取りに対する心配や不安がある	安心して看取りに対するケアができる	看取り後に話し合いをし、職員の思いや不安を共有し、今後に繋げる。	6ヶ月
4	35	災害時に地域の連携に不安がある	地域住民にグループホームの現状の理解を得る	地域の消防団の協力を得るために、現状視察の機会を設ける。	3ヶ月
5	4	地域との交流が少なくグループホームへの理解が浸透していない	地域に対するグループホームの啓発を行う	入居者と一緒に周囲の清掃活動を行う。施設行事への参加の呼びかけを増やしていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。